

○令和5年度第2回つくばみらい市総合教育会議

- 1 日時 令和5年12月7日(木) 午前9時30分から
- 2 場所 伊奈庁舎 3階 大会議室
- 3 出席委員
- | | |
|----------|-------|
| つくばみらい市長 | 小田川 浩 |
| 教育長 | 町田 幸子 |
| 教育長職務代理者 | 高橋 秀光 |
| 委員 | 久下 伸子 |
| 委員 | 安河内崇代 |
| 委員 | 秋田 昌彦 |
- 4 欠席委員 なし
- 5 出席職員
- | | |
|-----------|-------|
| 教育部長 | 鈴木 富夫 |
| 学校総務課課長 | 尾崎 和博 |
| 学校総務課課長補佐 | 海老原 弘 |
| 学校総務課課長補佐 | 松崎 隆 |
| 給食センター所長 | 直井 仁志 |
| 学校総務課主査 | 坂本真理子 |
| 学校総務課主事 | 大倉 未季 |
| 教育指導課課長 | 櫻井 芳則 |
| 教育指導課副参事 | 嶋田 知成 |
| 生涯学習課課長 | 大山 茂 |
| 生涯学習課課長補佐 | 渋谷 正夫 |
| 文化振興室室長 | 浅野 博之 |
| スポーツ推進室室長 | 松信 孝 |
| 伊奈公民館館長 | 広瀬 実 |
| 図書館館長 | 川田 賢司 |
- 6 傍聴人 なし
- 7 協議・調整事項 (1) 令和5年度 教育委員会の事業について
- 8 議事

事務局	【令和5年度第2回つくばみらい市総合教育会議の開会宣言】
市長 事務局	【あいさつ】 それでは協議・調整事項に入ります。進行につきましては運営要綱規定に基づき市長をお願いします。
市長 事務局	(1) 令和5年度 教育委員会の事業について」説明をお願いします。 令和5年度 教育委員会の事業について説明
市長 委員	質疑を諮る。 みらい土曜塾事業について、事業の進捗状況の中で、年々利用者が減少している。年度途中であるからかもしれないが、これから増える見込みがあるのか、何か原因はあるのか。

事務局	<p>みらい土曜塾については、4つの学校でそれぞれ実施しています。参加回数は、学校で様々であり、学校によっては、事前に開催予定を周知し、なるべく登録者に参加いただけるよう努めています。</p> <p>高校生ボランティアもいることから、子どもたちが楽しみながら参加し、学習を進めている状況もあることから、今後も継続できるよう周知をしていきます。</p>
教育長	<p>みらい土曜塾の登録数が、だんだん減少していることが気になり、何度か参観しています。参加者は、各自で勉強したいものを持参し、自習形式で行い、支援員もいますが、なかなか聞けないでいる子もいます。みらい土曜塾は、経済的な理由ということもありますが、継続していくことが良いと思っています。これから魅力を感じるみらい土曜塾にしたいと思い、現在、いろいろ検討しています。年間計画の中で、全18回のうちの数回を、例えば算数的なゲームをしたり、ALTと一緒に遊ぶことや理科的な教室を開くなど、子どもたちが、参加したいと思えるようなことを今年度中に考え、来年度に募集していきたいと考えています。</p>
委員	<p>放課後子ども総合プラン事業について、以前は、伊奈特別支援学校の子が利用していたと思う。現在は、伊奈特別支援学校の子は、放課後児童デイという福祉サービスを多くの方が利用している。以前は放課後子ども教室を利用していたと思うが、利用者がいなければ見直しが必要と思うが、どのように考えているか。</p>
事務局	<p>放課後子ども教室については、小学校全校で行っておりますが、伊奈特別支援学校のお子さんは、昨年度まで数名の方が利用していましたが、今年度は利用者はおりません。放課後子ども教室は、子どもの居場所づくりが目的であるため、今後見直しを検討していきたいと思います。</p>
委員	<p>部活動地域移行事業について、部活動のスポーツは、ボールやシャトルなど、消耗が激しく費用がかかると聞いています。今までは、各部活動の保護者負担や学校ごとにPTA後援会費から支出している。部活動の地域移行を学校ごとに行っていくと思うが、その費用についてのきちんとした方針があったほうが良いと考えるが、どのように考えているのか。</p>
事務局	<p>部活動地域移行については、市でも徐々に進めていっているところであり、具体的にどの部活から進めるか、費用はどうするかなども含め、いろいろな課題があり、これから検討するところがございます。今まで、学校負担であった費用を、受益者負担にするかなど、現在のところ決まってはおりませんが、学校や保護者の意見を参考に、検討していくこととなります。地域移行の協議会でも課題にし、いろいろなご意見を参考にしながら進めていきたいと思います。</p>
委員	<p>保護者の中にも、部活動に入っていない子も負担するのはどうかという意見ややりたくても部活動の費用がかかるため、断念せざるを得ないこともあるので、検討をお願いします。</p>
委員	<p>総合教育支援センター事業について、総合的な相談体制ができ、今後も期</p>

事務局	<p>待しています。総合教育支援センターですべてが解決することはないため、学校との連携はとても大事と思っている。そこで、スクールカウンセラーも週1日いてくれることはとてもよいことである。その中で、難しいかもしれませんが、不登校の子ども自身が、電話で相談はハードルが高く、なかなかできない状況であると思う。例えば、Webでの相談などできる体制は整っているのか。</p> <p>部活動地域移行事業について、外部指導者で成果を上げていることもあれば、うまくいかない事例もある。地域移行を進めるにあたり、研修やコーディネーターとやっていく中で、連携や見直しなどしながら進めていただきたい。要望です。</p> <p>放課後子ども総合プラン事業について、放課後児童クラブで特にみらい平地区で民設児童クラブが開設できることはよいことである。今後は、その運営をどうしていくかによって、さらによくなっていくようにしてほしい。要望です。</p> <p>総合教育支援センターのスクールカウンセラーとの相談について、不登校の子の考えや思いを直接、言葉にすることは難しいと考えます。メール等で相談できる体制を、今後検討していきたいと思います。</p> <p>部活動の地域移行について、指導者と生徒、指導者と保護者とのやり取りで、先行自治体に確認し、学校指導者から地域指導者に引き継ぎしているが、すべての内容が伝わりにくく、活動内でトラブルになることもあると聞いています。きちんと正確な情報連携し、子どもに指導にあたるのが課題であると思います。</p>
委員	<p>教育環境推進事業について、みらい平地区の通学路で、新しく中学校ができることで、富士見ヶ丘小と新しい中学校の多くの子どもたちと登校時間がかぶり、かち合ってしまう可能性が非常に高いと思う。安全安心な登校ができる体制をお願いしたい。</p> <p>総合教育支援センター事業について、開所後在籍者数が増えたというが、4月当初の在籍者は何人であったか。</p> <p>部活動地域移行事業について、休日の部活動から地域移行を進めていく予定であると記載があるが、すでに進めているのか、これから移行を進めるのか。</p>
市長 委員 事務局	<p>通学路については、ご意見ということでよろしいですか。</p> <p>はい。</p> <p>総合教育支援センターの4月当初の人数は、小学生が5名、中学生が2名でございます。</p> <p>部活動地域移行については、将来的には完全に地域の指導者に指導いただくことになると考えております。現在、先生の部活動指導については、週11時間以内で行うことになっており、休日は土日どちらかで3時間行うようになります。仮に休日の部活動を地域移行すれば、休日の3時間は完全になくなることとなります。その部分の移行をスムーズに進めていけれ</p>

委員	<p>ばと考えております。ただし、先生の中では、部活動の指導を希望することもあるため、各学校の部活動の状況に、寄り添いながら対応したいと考えております。</p>
事務局	<p>先ほどの続きになりますが、情報伝達や連携することもとても大事である。ただ、きちんとした方針や目安があれば問題は少なくすむと思う。その方針が、例えば、体力増進であるとか、協調性を養うなど運動するメリットはある。逆に、上位大会で優勝するためという目標にすると、部活動の目的やあり方が変わってくる。そこが、はっきりしていれば、地域移行しても指導者が迷うことがないと思う。市として、部活動にどういう目標を立てることが大事であると考えているのか。</p>
委員	<p>部活動の地域移行の考えとしては、大会で優勝をめざすことも一つの目標とはなりますが、できるだけスポーツに親しみをもつ子どもたちがたくさん活動できる場を作ることが大前提となると思います。スキルアップしたい子どもがいれば、専門的な指導の下に通うこともできますし、ニーズに合わせた部活動の地域移行を考えております。</p>
市長	<p>その通りと思います。そこを言葉としてきちんと残していただければトラブルも少なくなると思う。</p>
教育長	<p>市長会としては、部活動の地域移行を反対している。部活とは何かきちんとした議論がされないまま、部活動の活動時間を制限することになっている。</p> <p>学校の部活動を楽しみにしている子どもたちもいる。その子どもたちの意見を聞かずにこのまま進めていいのかと考える。部活動の地域移行を進めても、部活動を存続させてあげたい。</p>
委員	<p>現実問題として、休日の部活動を地域移行することはできると思う。なかなか指導者が見つからない。つくばみらい市では、平日、先生方の勤務時間内に部活動ができていることから、まずは、地域移行できる部活動から進めていくことがよいと考える。</p>
事務局	<p>要望となるが、通学路について、みらい平地区の中学校は住宅地の中にできる。つくばみらい市は、自転車通学が基本であるが、その考え方を見直したほうがよいのではと考える。人数もとても多いことから、例えば距離要件で徒歩と自転車を分けるなど、安全面からも通学方法はぜひ検討していただきたい。</p>
委員	<p>学区審議会の中でも議論の一つとしてありました。事務局として、近隣自治体の状況を見学してきました。そこでは、徒歩通学を基本とし、自転車は許可制として、小学生と中学生の通学路も分けていることも聞きました。そういう取り組みもあることから、参考にしながら今後検討してまいります。</p>
委員	<p>幼稚園に訪問した際、先生方から自分から考えて挑戦する子どもが少なくなったと聞いた。また、子どもたち同士の関わり合いが苦手な子も少ないという。考えを集めよう、グループワークをしようなど、先生方もい</p>

委員	<p>ろんな取組をしている。部活動も子どもたちがどのような練習をすればよいかなど考えながら行っている。このような課題を、保護者も共通認識を持つことが大事だと思う。日本の教育に外国の教育の良さを取り入れることもよいが、掃除当番や特別活動の協調性、規律を守ることなど、日本教育の良さを失わないでほしい。</p> <p>考える力を養うことは大切である。ある保護者の方から、今まで子育てをしてきた中で、自分の子どもに故郷を思う心がないという話を聞いた。例えば、秋祭りなど、都市部の小学生を小規模校に招待し、交流をとおして、自然豊かなつくばみらい市を紹介することで故郷の良さを理解してもらうこともよいと思う。</p>
事務局	<p>話は変わりますが、つくばみらい市内の、内部監査などはどのように行われているのか。</p> <p>市全体の監査委員は、2名おり定例監査を行っています。会計や契約関係など監査しています。そのほか、事務的な監査では行政評価があり、事務事業評価政策評価、計画どおり達成できているか、評価しています。あわせて、教育委員会では、事務点検評価を行っており、定期的に順調に進んでいるか、効果が低下しているものは見直しを行うなどしております。</p>
市長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>終了して、事務局に戻します。</p>
事務局	<p>市長、議事進行ありがとうございました。</p> <p>その他について、委員の皆様から何かご意見等ございましたらお願いいたします。</p> <p>【令和5年度第2回つくばみらい市総合教育会議の閉会宣言】</p>

上記決議を明確にするため、本議事録を作成する。

令和5年12月7日

市 長 小田川 浩
教 育 長 町 田 幸 子